

入れ歯の手入れ

入れ歯を長い間入れたままにしておくのは良くありません。不潔なだけでなく、粘膜に強い炎症を起こすこともあります。嫌な臭いが出たり、粘膜が赤くただれるのは、汚れが原因でばい菌の繁殖やかびの発生が起こるからです。

歯が全部ない顎に入れる入れ歯を総義歯、歯のない部分だけに入れる入れ歯を局部義歯といいます。この局部義歯の場合、じゅうぶん手入れをしないと、ほかの歯に悪影響を及ぼすだけでなく、貴重な時間と費用をかけて作った義歯そのものをだめにしてしまいます。

食事の後は、義歯をはずしブラシでよく洗いましょう。その際、人工の歯の部分、バネの部分、歯ぐきにあたる内側の部分というように、念入りに汚れを落としてください。みがき粉をつけたり、力まかせにゴシゴシすると、入れ歯が減って変形するので注意が必要です。歯が残っている場合、バネがかかっている歯の周囲が汚れやすく、むし歯になることが多いので、しっかりと汚れを落としてください。夜、はずしておやすみになる場合は、専用の容器を用意し、はずした入れ歯を水に浸しておくといでしょう。

義歯はからだの大切な一部分です。義歯の定期点検（かみ合わせ・ゆるみ・バネのちから等）を受け、きちっと手入れをして大切に使ってください。

お手入れに関してわからないことや、相談したいことがありましたら、歯科医院でおたずねください。



おひなさまとお歯黒

みなさんご存知でしたでしょうか？

3人官女の真中の人、眉をそってお歯黒をしているんです。

お歯黒の習慣がいつ頃から生まれたのかははっきりしません。「源氏物語」や「紫式部日記」などにそれに関する記述があり、少なくとも平安時代には歯を染める事が行われていたそうです。

昔は女性に限らず、戦国大名・今川義元などもお歯黒をしていたのは有名である。ではなぜ歯を黒く染めていたのか。その理由については諸説があり、一説には黒色は変わらないところから、女性のお歯黒は男性への節操を示すため、武人のお歯黒は忠臣を示すためだと言われています。

お歯黒は古い鉄屑を焼いて濃い茶の中に入れ、酒、飴、粥などを加えて発酵させたものだ。主成分は酢酸第一鉄で、それがタンニン酸と結合して空気で酸化すると黒色になるが、これを歯に塗れば鉄が歯を覆い、結果的に虫歯の予防にもなった。おそらく昔の人々は経験によってその効果を理解していたと思われます。